

# 特許情報プラットフォームの 新機能紹介

2018年12月  
特許庁総務部総務課  
特許情報室

➤ J-PlatPatは、インターネットで無料で利用できる、国内最大級の技術情報DB。

- ◆ 特許情報がより簡便に利用される環境を整備するため、平成11年に特許電子図書館 (IPDL) サービスを開始。多様化するユーザーニーズに応えるべく平成27年3月にJ-PlatPatとしてリニューアル。
- ◆ 特許、実用新案、意匠、商標の国内外の公報等約 1億3000万件を文献番号、キーワード等により検索することが可能。
- ◆ 直感的に使いやすい簡易なユーザーインターフェイスを採用し、初心者にも簡単に使えるサービスを提供。
- ◆ 利用回数は年間1億回を超えており、我が国において、誰でも無料で利用できる特許情報提供サービスとして定着。

- “J-PlatPat”で、「ジェイ・プラット・パット」と読みます。
- ユーザーの方が「ぶらっと」寄って、情報を「ぱっと」見つけられるユーザーフレンドリーなサービスを目指すべく命名されました。

<特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)>  
<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>  
(サービス提供時間：原則、土・日も含め24時間稼働)



## 1. J-PlatPatの機能改善

- (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索、近傍テキスト検索
- (2) 外国特許公報の検索範囲の充実化
- (3) タイムラグの改善
- (4) 提供される書類の範囲拡充
- (5) 検索対象の拡充
- (6) 機械翻訳の改善
- (7) 使いやすさの改善

## 2. 提供される書類の範囲拡充に当たっての留意点（意匠・商標）

## 3. 課題解決の為の手引書等

2018年3月リリース済み

➤ FI / Fタームとキーワードとの掛け合わせによる検索や、Fタームのテーマコードを指定したうえでキーワードによる検索が可能。

- FI / Fタームとキーワードによる検索

(例)

FI/Fターム

C09J7/00 又は 4J004AA03など

検索キーワード

接着剤

現在の分類検索と同様に、  
下位階層の分類まで検索可能。  
また最新の分類情報を対象に検索可能。

- Fタームのテーマコードとキーワードによる検索

(例)

テーマコード

4J004

検索キーワード

接着剤

テーマコードは副テーマコードを含め最大10  
個まで指定可能。

# 1. (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索 2

- 例：FIとして「C09J7/00」、キーワードとして「接着剤」を掛け合わせて検索する場合の画面イメージ

検索項目として「FI」を選択し、検索キーワードに「C09J7/00」を入力

検索キーワード

検索キーワードを入力してください。検索項目毎の指定方法及び入力例は [こちら\(ヘルプ\)](#) をご覧ください。  
検索対象の種類別使用可能な検索項目は、 [こちら\(ヘルプ\)](#) をご覧ください。

検索項目		検索キーワード	検索方式
FI	含む	C09J7/00	OR
AND			
全文	含む	接着剤	OR

+ 追加

🔍 検索

検索項目として「全文」を選択し、検索キーワードに「接着剤」を入力

2018年3月リリース済み

➤ 互いに近接する2～3単語の対象語を含む日本語文献を検索することが容易になる。

## • 2単語の近傍検索の例

検索対象テキスト

本発明は、**弾力性**の高い**こんにゃく入りゼリー**に関するものであり、こんにゃくを含有していないゼリーと比較して、優れた味覚を維持しつつ、弾力性が高いゼリーを提供し、こんにゃく入りゼリーが喉に詰まる危険性を低下させるものである。……

検索式：**弾力性**, **10N**, **こんにゃく入りゼリー**/TX

互いの単語間の文字数を特定  
1～99文字まで指定することが可能

# 1. (2) 外国特許公報の検索範囲の充実化

## 2018年3月リリース済み

➤ これまでは番号のみで検索可能だったが、外国特許公報を、英文テキストにより検索することが可能。

### ・蓄積範囲

米国	1978年12月発行分～
欧州	1978年12月発行分～
国際出願	1978年10月発行分～

2019年5月リリース予定

## ▶ タイムラグの改善

機能改善に伴い、原則、特許庁で書類が発出された翌日に審査・審判経過情報が反映される予定。(現在は、約3週間後に参照可能)

## ▶ 提供される書類の範囲拡充

機能改善に伴い、意匠の審査段階、商標の審査段階、及び、四法の審判段階における書類として、例えば、拒絶理由通知書、意見書、手続補正書、面接記録、応対記録等、多くの書類の内容が新たに照会可能となる予定。

※ 意匠・商標の審査段階やこれらの審判段階における書類は、2019年1月以降の書類が照会対象となる。なお、意匠については登録になった案件の書類が照会対象となる。



# 1. (5) 検索対象の拡充

## 2019年5月リリース予定

- 現在、中国、韓国文献（中韓文献）の検索の為には、中韓文献検索システムを利用する必要がある。
- 2019年5月から、中韓文献の翻訳データについて、J-PlatPatにおける「特許・実用新案検索」メニューから日本語により検索可能となる。

- ・ 蓄積範囲

中国及び韓国

2003年発行分～

- 商標においては、権利が消滅した商標、拒絶査定となった商標も含めて検索することが可能となる。
- 検索結果画面には、権利の存続状況もあわせて表示。
- また、権利の存続状況による検索結果のソートが可能。

2019年5月リリース予定

- 現在、日英機械翻訳の機械翻訳はルールベースとなるが、ニューラル機械翻訳技術を用いて、より翻訳精度の高い翻訳データを提供。
- 順次、学習用データ（対訳コーパス）による追加学習、また誤訳フィードバックなども取り込み、精度向上につなげる予定。
- 外国庁の審査官に読みやすい英文を提供することで、JPO審査官の審査結果の参照機会が高まり、出願手続きにおけるコスト低減化が期待。
- 外国出願の資料作成時における翻訳作業の効率化も併せて実現。

## ・翻訳対象文献

審査書類情報（拒絶理由等）

公報情報（日本特許公開公報、日本特許公報等）

2020年4月リリース予定

- 現在、中国文献の機械翻訳はルールベースとなるが、ニューラル機械翻訳技術を用いて、より翻訳精度の高い翻訳データを提供。
  - 順次、学習用データ（対訳コーパス）による追加学習、また誤訳フィードバックなども取り込み、精度向上につなげる予定。
  - 中国文献の読みやすさが改善し、技術内容の理解が容易になると共に、中国文献の調査分析の用途にも利用が広がることが期待。
- ・ 翻訳対象文献
    - 中国特許公報、中国特許公開公報
    - 中国実用新案

# 1. (7) 使いやすさの改善

2019年5月リリース予定

- キーワード、文献番号による、四法での横断的な検索。
- 検索結果が上限を超えた場合の自動絞込。
- 検索結果のリスト表示で検索項目毎のソート機能。
- 単一図面の拡大操作、回転操作等の機能。
- HTML5の機能による検索式の再利用。
- 意匠の結果表示を、リスト形式、サムネイル形式、全図形式から選択可能。
- 日本意匠分類についてキーワード等で簡単に調べることが可能。

## 1. J-PlatPatの機能改善

- (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索、近傍テキスト検索
- (2) 外国特許公報の検索範囲の充実化
- (3) タイムラグの改善
- (4) 提供される書類の範囲拡充
- (5) 検索対象の拡充
- (6) 機械翻訳の改善
- (7) 使いやすさの改善

## 2. 提供される書類の範囲拡充に当たっての留意点（意匠・商標）

## 3. 課題解決の為の手引書等

## 2. 提供される書類の範囲拡充にあたっての留意点（意匠・商標）

- 2019年1月以降作成の意匠・商標の審査・審判段階の書類がJ-PlatPat上で照会可能となる。
- 照会対象の書類の内容は、原則、すべての項目が表示される。
- 個人情報や営業秘密等を記載する必要がある場合は、記載方法に注意。

### オンライン手続の場合

【書類名】 商標登録願  
 【整理番号】 001  
 【あて先】 特許庁長官殿  
 【商標登録を受けようとする商標】

#### 提出する書類



【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】  
 【第1類】  
 【指定商品（指定役務）】 化学品  
 【第2類】  
 【指定商品（指定役務）】 塗料, 染料, 顔料  
 【商標登録出願人】  
 【識別番号】 00000000  
 【氏名又は名称】 商標株式会社  
 【代理人】  
 【識別番号】 000000000  
 【弁理士】  
 【氏名又は名称】 代理 太郎  
 【電話番号】 00-0000  
 【手数料の表示】  
 【予納台帳番号】 000000  
 【納付金額】 20600  
 【提出物件の目録】  
 【物件名】 連絡先 1  
 【添付物件】  
 【物件名】 連絡先  
 【内容】

特別な対処は必要なし

- 【住所又は居所】
- 【電話番号】
- 【ファクシミリ番号】

- ①【提出物件の目録】及び【添付物件】の項目を作成
- ② 画像データとして貼付

日中の連絡先は以下のとおり。

携帯番号：090-XXXX-XXXX

【書類名】 商標登録願  
 【整理番号】 001  
 【あて先】 特許庁長官  
 【商標登録を受けようとする商標】

#### J-PlatPatでの表示イメージ




【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】  
 【第1類】  
 【指定商品（指定役務）】 化学品  
 【第2類】  
 【指定商品（指定役務）】 塗料, 染料, 顔料  
 【商標登録出願人】  
 【識別番号】 000000000  
 【氏名又は名称】 商標株式会社  
 【代理人】  
 【識別番号】 000000000  
 【弁理士】  
 【氏名又は名称】 代理 太郎  
 【電話番号】 <省略>  
 【手数料の表示】  
 【予納台帳番号】 000000  
 【納付金額】 20600  
 【提出物件の目録】  
 【物件名】 連絡先 1

文字入力した部分

画像データ部分

## 2. 提供される書類の範囲拡充にあたっての留意点（意匠・商標）


### 書面による手続の場合

特許 印紙	特許 印紙	特許 印紙
(20,600円)		
【書類名】	商標登録願	
【整理番号】	001	
【提出日】	平成31年 1月 1日	
【あて先】	特許庁長官殿	
【商標登録を受けようとする商標】		
【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】	【第1類】 【指定商品（指定役務）】 化学品	
	【第2類】 【指定商品（指定役務）】 塗料, 染料, 顔料	
【商標登録出願人】	東京都千代田区霞が関3丁目4番3号	
【住所又は居所】	特許 太郎	
【氏名又は名称】	00-0000-0000	
【電話番号】	① 又は 識別ラベル	
【提出物件の目録】	連絡先 1	
【物件名】	連絡先 1	
【物件名】 連絡先	日中の連絡先は以下のとおり。 携帯番号：000-0000-0000	

### 提出する書類

特別な対応は必要なし  
【住所又は居所】  
【電話番号】  
【ファクシミリ番号】

- ①【提出物件の目録】の項目を作成
- ②添付書類として提出

【書類名】	商標登録願
【整理番号】	001
【提出日】	平成31年 1月 1日
【あて先】	特許庁長官殿
【商標登録を受けようとする商標】	
【指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分】	【第1類】 【指定商品（指定役務）】 化学品
	【第2類】 【指定商品（指定役務）】 塗料, 染料, 顔料
【商標登録出願人】	<省略>
【住所又は居所】	<省略>
【氏名又は名称】	<省略>
【電話番号】	<省略>
【提出物件の目録】	連絡先 1
【物件名】	連絡先 1
<省略>	<省略>

### J-PlatPatでの表示イメージ

特許庁ホームページもご参照下さい。

意匠・商標の審査・審判書類がJ-PlatPatで照会可能となります

[http://www.jpo.go.jp/torikumi/chouhoyu/chouhoyu2/tokkyo\\_platform\\_181129.htm](http://www.jpo.go.jp/torikumi/chouhoyu/chouhoyu2/tokkyo_platform_181129.htm)

## 1. J-PlatPatの機能改善

- (1) 特許分類とキーワードを掛け合わせた検索、近傍テキスト検索
- (2) 外国特許公報の検索範囲の充実化
- (3) タイムラグの改善
- (4) 提供される書類の範囲拡充
- (5) 検索対象の拡充
- (6) 機械翻訳の改善
- (7) 使いやすさの改善

## 2. 提供される書類の範囲拡充に当たっての留意点

## 3. 課題解決の為の手引書等



# 3. 課題解決の為の手引書等 1

2018年3月リリース済み

▶特許情報の重要性及び活用方法について理解を広めるとともに、特許情報サービス全体の利用者拡大を図るため、特許情報サービスの利用者拡大に効果的と考えられる記事・手引書を作成。

## J-PlatPatを利用した経営課題解決の手引書



## 各種の紹介記事



詳細は特許庁ホームページをご参照下さい。

特許情報提供サービスに関する調査報告書について  
[https://www.jpo.go.jp/shiryoku/toushin/chousa/sangyou\\_zaisan\\_service\\_houkoku.htm](https://www.jpo.go.jp/shiryoku/toushin/chousa/sangyou_zaisan_service_houkoku.htm)



- J-PlatPatは特許等の出願、権利化に関する調査目的に利用するだけでなく、以下の通り様々な状況で活用することができる。

### J-PlatPatの活用シーン

- ✓ 支援を始めようとしている企業の特徴を知りたい。
- ✓ 顧客企業が補助金制度を利用するときに効果的な支援をしたい。
- ✓ 顧客が考案した技術や商品名を使用して良いか確認したい。
- ✓ 販路を拡大するために企業情報を収集したい。
- ✓ リソース不足で困っている顧客企業の力になりたい。

平成29年度調査事業より

- 活用例 1 : 自社のノウハウだけでは作れない製品を他社の特許を利用して製品化したい!

あなたはスポーツ用品の道具を作っている「イダジマ」の経営者です。

近年、安価な外国製品が市場に流通してきたことから、売り上げは縮小傾向にありました。そこで外国製品との競争を避けるため、国内でメジャーなスポーツに着目し、剣道の武具を主要な製品としていました。

近年、部活動で剣道を行っている学生が熱中症で倒れる問題が相次いで発生しました。学校に対して武具を提供しているイダジマ社は、この現状を何とかしたいと考え、防具の「面」に頭部を冷やす仕組みを備えられないかと考えました。

イダジマ社はモノ作りは得意でしたが、上記のようなアイデアを実現するために必要な人材や設備はありませんでした。

そこで、上記のようなアイデアを持っている会社を探し、共同開発することを考え始めました。

J-PlatPatを使って共同開発できる技術を持った会社がないか探してみよう!

## 目標

- 特許の件数は非常に多く、自分たちが欲しい技術を見つけるにはコツが必要です。
- 次のページからの手順に則り、特定のキーワードから知りたい情報を見つける方法について確認してみましょう。



**ご清聴ありがとうございました**